

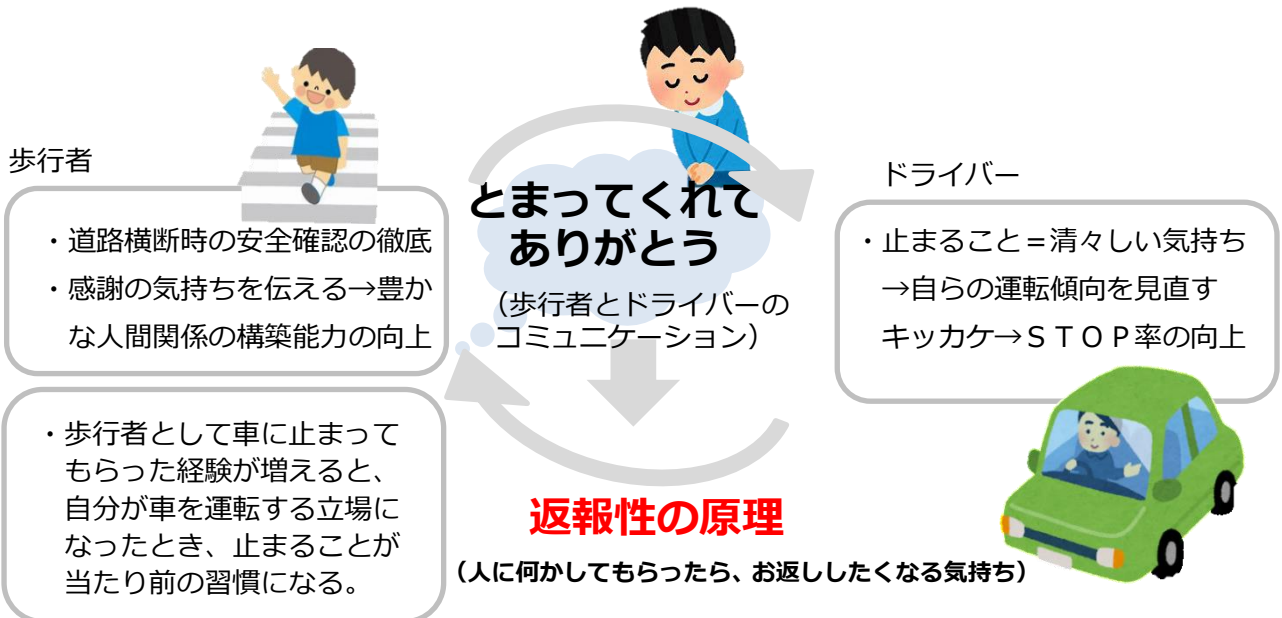
「とまってくれてありがとう運動」概要

1 「とまってくれてありがとう運動」とは

- ・横断歩道での歩行者優先の徹底を目的に、横断歩道を渡る歩行者側から、一時停止してくれたドライバーに対して、会釈などで感謝の気持ちを示す運動。

《運動の効果》

- ・歩行者は会釈などで「ありがとう」と感謝を伝えようと、横断歩道を渡る前にドライバーとアイコンタクトを実施する習慣を付け、安全確認を徹底する。
- ・またドライバーは、本来一時停止する義務に対して、ありがとうの感謝を伝えられることで清々しい気持ちになり、止まったことがよかったと思える。これにより自身の運転傾向の見直しにつながり、次回も止まろうという思いになり、横断歩道での一時停止率向上につながる。



2 実施活動例

- ・小学校の児童を中心に、登下校時に「とまってくれてありがとう運動」を実施
- ・オリジナル横断旗を使用しながら、学校、自治区の登下校見守り活動としてありがとう運動の指導
- ・校区内の住民に、交推協便りや自治区回覧等でありがとう運動の周知

【逢妻地区での活動実施例（令和元年度）】

